



たわらもとウォッチング

まちのできごとを紹介します



▲「よーいしょ！」大きな掛け声とともに綱を引く



▲ゴールに向かって全力疾走

秋空の下、仲間とともに全力を尽くしました
町内各幼稚園、小・中学校で運動会・体育大会

10 / 6



◀ソーラン節にあわせて勇ましく踊る



▶おみこしを担いで駆ける

9月下旬から10月上旬にかけて町内の幼稚園、小・中学校で運動会・体育大会が開催されました。
10月6日に行われた田原本小学校の運動会では、赤・青・黄・白の4組に分かれて点数を競いました。
「もえろ四色の田小魂」のスローガンを掲げて始まった運動会、児童たちは、綱引きやリレーなどで競い合うとともに、息を合わせて踊りや組み体操を披露しました。



▲家族でおだんごをパクパク



▲たわらもと吹奏楽団の演奏とキューティーズのダンス

今年も大勢の人で賑わいました
たわらもと十六市

10 / 14



◀模擬店で買い物



▶よく狙って金魚をすくう

10月14日、イベント広場や津島神社、浄照寺、本誓寺、奈良中央信用金庫本店で「たわらもと十六市」が開催されました。今年で6回目を迎えた十六市は大勢の人で賑わいました。イベント広場のステージでは、吹奏楽や和太鼓の演奏、ダンスなどが行われ、会場を盛り上げました。
訪れた人々は、模擬店で買い物やゲームをしたり、演技を見たり、抽選会に参加したりして心から楽しんでいました。

田原本中学校吹奏楽部が 第18回日本管楽合奏コンテスト 全国大会への出場を決める



田原本中学校吹奏楽部が、第18回日本管楽合奏コンテスト全国大会（〈公財〉日本音楽教育文化振興会主催）への出場を決め、寺田町長を表敬訪問しました。11月4日に文京シビックホール（東京都）で、「大いなる約束の大地～チングス・ハーン／鈴木英史作曲」を演奏します。顧問の三崎佳余子さんは、「地域の方々に支えられ充実した活動ができるようになりました。9月末の定期演奏会が台風の影響で中止になって残念な思いをしているとき、予選通過の通知が届きました。部員一同大喜びです。大舞台上で思い切り音楽ができるチャンスです」と地域への感謝の気持ちと意気込みを話してくれました。

部長と副部長に、全国大会出場の思いを聞きました



全国大会の舞台に立てることがすごくうれしいです。今まで支えてくださった方々に感謝しています。聴いてくださる方の心に響くよう、気負わず私たちの音楽をしたいです。

よしだゆうこ
部長 吉田優子さん

もう一度みんなと演奏できることがうれしいです。演奏曲は、広い大陸を連想させる曲です。この曲にふさわしい迫力と感動を伝えられるように、自分たちの演奏をしてきます。

すえかねまなみ
副部長 末包真奈美さん



最後の定期演奏会が台風で中止になって落胆していたところで、全国大会出場が決まりました。個性的な部員が多いので、良い部分を掛け合わせて最高の演奏をしたいです。

ひらいまゆき
副部長 平井麻由希さん



◀大きな掛け声とともに、タイミングよく太鼓を叩く



▶子どもだけでみこしを担ぐ

10月7日、薬王寺自治会で「秋祭り供みこし」が行われ、約230人の子どもと両親、祖父母など約500人が参加しました。2台のみこしが八幡神社を出発。1台は小学5・6年生が中心に担ぎ、もう1台は残りの参加者全員で引きます。約3時間、子どもを中心に3世代が一体となり村中を練り歩きました。子ども会会長の藤井正順さんは「子どもは地域社会の宝。祭りは3世代の会話が生まれるので、地域で子育てができる」と話してくれました。

地域で3世代の会話が生まれる
薬王寺自治会で秋祭り供みこし

10
7



▲ボールを次の人に渡してゴールを目指す

10月10日、コミュニティホール和室で、高齢者や障がいのある人を対象に活動する活き粋サロンふれあいコスモスが「豊の上大運動会」を行いました。これは懐かしい運動会を思い出しながら体を動かし、心身ともに若返ることを目的に毎年行われているものです。利用25人とスタッフ12人・協力者9人の計46人は赤組と白組に分かれ、ボール渡し競争や綱引きなど計7種目を競いました。利用者たちは、みんなで励まし合い、競技を楽しみました。

やっぱり運動会はみんなでワイワイ楽しい
第12回豊の上秋季大運動会

10
10